

# 内郷村報

行發日一四一月年  
 社 內郷村報社  
 大内民 惠  
 電話 八四二〇  
 印刷所 大内民 惠  
 印刷 大内民 惠  
 活版所 大内民 惠

## 社會事業

### 飼犬問題

大内民 惠

## 内郷村報の 六大使命

- 一、政黨派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内外各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村共済事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事業行を表彰し、且之を奨勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、尙餘力を以て、國民善導に當る。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の政説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

記者は舊年末約一週間を費して、我受持方面區域たる、宮澤、代、蛭子の各字を通じて、三十余戸の貧困家庭を訪問して、親しく其生活状態を調査した。其大部分は何れも老衰病弱等の爲に、失業した者であつて、匡救工事の出役、石炭拾ひ等の細き収入によつて、辛うじて命を繋いで居るといふ、眞にお氣の毒な人々のみであつた。記者はそれらに對して、**救護法適用手續**、小學兒童給食申請、就業紹介、濟生會治療券交付手續、扶養義務者への交渉、内郷共濟會からの賑恤品贈與等々身に叶ふ丈の最善を盡したのであつた。而して以上の人々の食物を見るに、働かざる人々、子供の學校辦當金は、粒の御飯であるが

其他の家族は、雜穀野菜等を多分に入れた、雜炊若しくはお粥なのである。其實際に直面した記者は、異常なる**衝動**を以て我が私生活を反省させられた。我が家の生活は、云ふ迄もなく質素を旨とし、衣食住の如きも、健康を保ち、体面を維持する最低限度を標準として、酒類等は一切用ひず。煙草は來客に出す程度であつて、之れ以上輕減節約すべき餘地を見出されないのであるが、唯一つ**飼犬**の問題に逢着したのである。それは一昨々年の暮、我家に紛れ込んだ一頭の小犬を、勿論捨てられた者らしく、飼主もなさそうなので可愛相だであつて、子供等や會員達が、殘飯餘香を

與へて寵愛したるに始つて何時とはなしに、我一家の飼犬となつて仕舞つたのである。其毛色が眞黒く、且つ炭礫である處から、之に**タ**ン(炭)と命名し、一家は勿論、七年會のタニと呼ばれて、界限の愛犬となり、又不可思議にも、人を見分けて吠ゆる特性を有し、乞食の如きは一喝し

るが、**タ**ンの吠否如何によつて、多少例外もあるが、來訪者の善惡の判断がつくといふ、重寶さを現はして居るのである。されど翻つて考へて見ると、其食量たるや、實に驚くべきもので一日に少くも古洗面器に二杯の御飯と、それに何ぞ生臭物を雜せてやらなければ食はぬといふ贅澤振りなの

るか、人様に上げるとすれば、己の欲せざる處を人に強ゆる不徳となり、之を屠殺するとすれば、三年來愛育したるタン、等しく此世に生をうけたる動物の愛偶之愛情に於て忍びない。偶々一年振りて歸宅したる長男に飛びついて喜ぶタンの様子を見た時に！鬼ならぬ我全家族は、いやが上に

### 内郷村教育費ニ關スル調査

村議 猪狩喜平治氏調

項目	昭和六年度	昭和七年度豫算
小學校教育費	六六、一五〇、〇〇〇	六八、四六四、〇〇〇
村員 撥割金	一七、一七二、五九	一七、五六一、七六
同 員 撥割金	二六	一九
國庫補助授業料炭炭寄附金	四八、九七七、四一	五五、九〇一、二四
同 員 撥割金	三三、五一七、四一	四〇、〇五一、二四
内譯 授業料	三、四六〇、〇〇	三、八五〇、〇〇
同 員 撥割金	二、〇〇〇、〇〇	二、〇〇〇、〇〇
同 員 撥割金	七四	八一
學級數(内八十二人以上ノ學級二七)	五、二六三	五、三六九
村員 撥割 兒童一人當	三、二六五厘	二、三三九
國庫補助同 上	六、三三二	七、四五八
炭炭寄附同 上	二、二四三	二、二三五
村員撥割ニ對スル寄附金ノ割合	六九%	九五%

之を追ひ拂ひ、たちのよくない商人などに對しては如何に之を制止しても、咆哮するといふ有様で、後で調べて見ると、其商人が搏打打であつたとか、前科者であつたとかいふ様に、必ず善人ではなかつたといふ事が、しばしばあり(勿論我一家は一視同仁にせうした人々も歡迎するのである。然らばどう處分す

**飼** 此意味に於て記者は、一般諸賢に對して、必要なる獵犬番犬等之を別として、**飼** 犬制限を提唱せんとす

か居る計りでした。又今年一月末我歩兵四聯隊が、一大奮戦をした處である事を聞かされて、後松に感概深いものがありました。後松江の風景を賞しましたが全部水結

先つ家畜を飼つて、其邊の草で飼

大連縣にて、圖らずも、に居留される瀋陽兩兄から出迎へをうけ大に意を強うするに同時に、非常に嬉しがたが、自由外出は絶對に禁じます。(此項未完)

### 賀詞

- (年賀狀に添へて賜りしもの)
- 白石 鈴木 綾雲
  - 初日拜む人城山にむらかりし
  - 雪知らぬ内郷村や今朝の春
  - 海人の子等つさびて拜む初日の出
  - 杉田 高橋 直記
  - 内にかきさりの初音をぞする
  - 長閑けきさりの初音をぞする
  - 福島 天野 助治
  - 淺みどりする朝の和原
  - 望千里波静かなり
  - 國高橋 鈴木 英一
  - 年々に皇國さかえて彌榮に 明け行く春を誇きまつる
  - 福島 馬場 文雄
  - 世の中はかりの世なれど借りにく
  - 夢の世なれど世なれど借りにく
  - 朝海 崎玉 安部井義玄
  - 灣東日出彩雲清 百八聲中斗柄廻
  - 艦上揚旗祝帝城 韶風送暖入屠杯
  - 萬里照々年復處 新春妙旨令誰會
  - 閑鴨片々入詩情 梵院梅花雪裡開

# 礦 產 稅 移 讓

## 一一萬三千圓 交附

豫て運動中であつた礦産稅移讓問題は愈々決定して本年度より約二萬三千圓が我村に交附される事となつた。之を如何に處理すべきかに就ては、夫々當局に於て研究審議中の由であるが私設視學たる吾人をして忌憚なく云はしむれば、先づ何を措いても小學校の學級を増加すべきであると思ふ。七十一學級中八十人以上の學級二十六もあるとは、恐らく全國にも其例なかるべく、其も畢竟するに炭礦村なるが故であつたのであるから、此際之が緩和を計るは至當の事であり、賢明なる我等の當局も既に其方針で居らるべく、縣學務當局も之を好機として、法規實行を指令する事と思はれる。之が我が五千學童の爲であり、延いては其父兄たる全村民の利福となるのである。次に之に連關して警族寄附金問題が問題になつて居る様であるが、之は本紙一面掲載の統計、全縣下市町村教育費負擔額、村内學童の保護者別礦産稅移讓の理由等を検討闡明する事によつ

### 臨時村會

一月十八日開催。村基本金より用水堰改修工事資本金として一五六圓貸付の件協議決定す。

### 宮火防組

出初式は一月四日盛大に舉行。組頭坂場榮吉、副組頭泉已三郎小島昇、部長小泉眞壽泉海助加藤潔齋藤喜一の諸氏に決定。部員六五名。

### 凱旋兵歡迎式

二月五日内郷座に開催。開會の辭山崎喜市氏、國歌合唱、歡迎の辭沼田村長、記念品贈呈、來賓祝辭大内

### 九州を一巡して

約三週九州地方の大小諸炭礦を見學して参りました。色々の点で啓蒙される点も少くありません。勞務管理に就ても、三井式、三菱式、住友式といつた様な風にも、各資本系統によつて夫々特色ある方法があらわれて居ます。概括して言ふ事は云はれませんが、無論、處もあり、悪い点もあり、マア似たりよつたりです。警族でやつて居る事もあり、真似をしたいなと思ふ様な事もあり。其甚道もありません。此の間の、点々益々助長して行かればなりません。九州では工場(記者註)ある労働組合のみを雇入れるとの團體契約を結んで居る工場(記者註)を採り用して居ますが、(三井共愛組合、三菱炭礦協和會、住友親和會、明治信和會等)其管理運用の方法については、必ずしも其軌を一にして居る様で居りません。勞務者の教育については、可成り徹底的にやつて居ります。病災害防止の運動でも、積極的に勞務者を教育する事によつて、効果を擧げ様といふ方針で、強制的に職業教育、保安教育を施し、入坑前にラヂオ体操をやつたり、禁酒の會を作つたり、其他色々の方法が行はれて居ます。病災害の防止はさかしく大問題です。併し上の方から注意さるべく吹くむ文では効果は少なく、下の方から自發的に其氣になるさいふのでなければ嘘です。我々職員の任務は、勞務といはず現場といはず勞務者こそです。(在文實記)

### 民惠仲村辰四郎野木久彌三氏、答辭鈴木正吾氏、萬歲三唱の順序で舉式。出席者二百余名、凱旋兵三十五名の氏名を左に(順序不同)

鈴木竹治 折笠西松 増山鑄夫 高野金作 篠田隆 菊地幹 宮本義勝 大和田 百枝 松野丁 高木茂 萩 谷勝一 小貫操 大島延夫 志賀清美 及川進 照山時也 松岡關野 小林金二郎 遠藤英男 野崎清 熊坂源一 鈴木正吾 佐久間武彦 菅原藤五郎 山田佐榮 鈴木吉三郎 歌川弘 菅野要一 志賀武弘 矢吹力榮 猪狩保 山野邊正直 佐藤泰雄 太田辰吉 市川正義 今更に高き勳を仰ぐ哉 今日武士をこゝに迎へて

### 共濟委員報告

縣共濟常務委員大内民惠

一月分集計報告の概要は第一種八〇世帯、三四二名、第二種二七二世帯、一九五名、生活扶助九八、生業扶助三七一、醫療七、助産一、埋葬一、戸籍整理三、兒童保護一〇三、家屋訪問三六二、其他二一であつた。

### 年末賑恤

内郷共濟會にては、全村委員の活動によつて徵集したる會費寄附金合計二六一圓中より、舊年末に於て、八六世帯三八三名に對し、六四圓五〇錢を支出して賑恤を行つた。尙警族の寄附金及小島の一部は近日中徵集の豫定であるとの由。

### 美はしき同情

杉山炭礦では舊臘出水の爲約一ヶ月間休山したので

### 小島良利氏談

勞務課長

本紙贊助助金寄附芳名  
金五圓 亡母追悼供養の爲  
内郷 猪狩喜平治  
警族 菊地平之丞  
内郷 國分久  
舟田なかり  
杉山今朝吉氏  
金五圓 同 病院  
金五圓 同 本宮  
金五圓 同 大阪  
金貳圓 平町  
金貳圓 湯川久子  
金貳圓 同 桐原英純  
金貳圓 同 鈴木染物店  
金參圓 同 某氏

あるが、礦主は其間従業員に對して生活費を給し、且つ年末に際して關係方面に夫々賑恤を行つたので何れも感謝して居る。又同礦従業員佐藤龍吉氏父子は、進んで共濟會に入會會費を完納し、受持委員をして感激せしめた。

島田兼吉氏は、窮民に同情して更に白米三俵を寄附した。

倉田龜之助氏は、第四區田中委員の手を経て、着類雑品二十一點を夫々窮民に寄附した。

### 産婆睦會

一月十七日小野寺氏宅に、新年祝賀を兼ねて發會式舉行、開會の辭川島女士、祝辭會田應崎樋口三來資、答辭大野女史の順序で式を終つて宴に移り、會田院長の謠曲、會員の隱藝等で盛會を極めたる由。

### 遍照講

一月八日願成寺發會式舉行。講員三十名。

## 陸上競技十傑中 馨炭二傑を占む

### 教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内民惠著  
(四六版二二一頁 定價五錢 郵税六錢)

行き詰れる現代の教育制度を體認して、學理を實際と、歴史を實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の發同枚舉に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

### 我國教育學界の權威

京大教授小西重直博士

吾を寄せて曰く、多年御體験下實地ノ御試練ニ基ク眞學眞國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ打テ申候云々。

發行所 日本評論社  
東京丸の内昭和ビル  
取次所 内郷村報社

### 陸上競技十傑中 馨炭二傑を占む

來賓濱崎部長、田中猪狩井上等勞務主任の有益なる訓示等あつて茶菓の間に教訓狂歌福引にうつり、大内會

入陽會創立趣意書

派華に悪人なしといふ諺があるが、我々はさして善人とも思はないが、年を逐ふて頭の光りが増えて行くのを見る時、悪人だらけ、善人がいなくなつて行

教育費負擔額、村内學童の保護者別礦産稅移讓の理由等を検討闡明する事によつ

### 矢野 恒太序 大内民惠著 教育制度改革概論

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理と實際と、歴史と實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同枚舉に堪へず。味しむる一人の抗議者も現はれず。

我國教育學界の權威 京大教授小西重直博士 書を寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試驗ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜

發行所 日本評論社 東京九ノ内昭和ビル 取次所 内郷村報社

## 陸上競技十傑中 磐炭二傑を占む

豫て日本陸上競技聯盟に於て陸上競技十傑は昭和七年度日本陸上競技十傑は舊曆發表されたが、磐炭体育會陸上競技部選手中より川又多三郎(五種競技三一七二點で第四位)工藤一郎(五千米競走十六分〇秒三で第六位)の兩君見事に入選夫々聯盟から十傑賞を贈られた。



會和親澤宮たじ興に引福

志賀顧問の如きは、大に尖端を行つて模範を示さうといふ張込方達自ら諸般の準備に當り、先づ大内會長の挨拶及講話、

來賓濱崎部長、田中猪狩井上等勞務主任の有益なる訓示等あつて茶菓の間に教訓狂歌福引にうつり、大内會長以下幹部四人福の神に扮装、新作狂歌によつて、一人の洩れなく、適切なる訓戒と、奇抜なる福品の授受あり、何れも歡呼拍手を以て之を迎へ、九時半萬歲三唱裡に芽目度しかも有意義に閉會した。

入陽會創立趣意書 昭和八年紀元節 派華に惡人なしといふ諺があるが、我々はさして善人とも思はないが、年を逐ふて頭の光りが増して行くのを見ると、惡人でないといふ事、だん／＼證明される様で、何となく朗かな気分になつて来る。それに宴會などで、電燈の下にでも席を占め様ものならば、忽ち話題の中心となつて、其光彩は萬場を明るくする。此明かきと、此明るさを打つて一團としたならば、光りは天下の大村内郷からといふ鹽梅に、日本全國をリードする事又難きにあらすと思はれる。茲に之を大陽會と命名して、普く全村から會員を募集する。我と思はん善人は、奮つて御入會あれ。陽春の候を期して盛大なる發光式を擧げて、會則其他一切を決定し様と思ふ。但し謙遜して善人たらざるを裝ふ御仁に對しては、當方より推薦して會員たる事を強要する考である。

## 宮澤親和會

同會では一月十五日午後六時より集會所に於て、新役付の顔合せに新年祝賀を兼ねて茶話會を開催した。

## 宮澤親和會の新年會

（前略）開會の辭に次いで莊重なる國歌の合唱は、久遠の君が御代を壽ぐと共に、宮澤親和會の綱榮を讀へるかの様、大内會長の挨拶訓辭は、其家憲家法や、徳川時代の五人組制、さては天法人則等々手近な例より宏遠の理想を説き、正に會の重鎮たるを思はしむ。續いて來賓濱崎部長の祝辭あり、温情慈顔に溢れ、愛語縷々、感激堂に満ち、田中(字)猪狩兩氏の語に一同面を輝す。親和會の創始者たり、過去二ヶ年間宮澤區の受持たりし緣故から、不肖が此席に連り得たるの愧びと感謝とは、實に言語に絶するものがあつた。

## 親和幹部表彰

元旦祝賀式に小島勞務課長より表彰されたる昭和四年度以降全山親和會幹部の氏名は左の通りで、小柳吉平氏代表答辭を述べた。

## 伊藤長助 海老名寅藏

阿部岩次郎 小柳吉平 箭田初穂 村上久次郎 若松利雄 佐藤啓三郎 鈴木吾一郎 芳賀光榮 大内亘 富森一繁 圓谷兼吉 星野秋次郎 佐藤佐次郎 遠藤清 寺島幹夫 武藤忠吾 三森廣馬 安齋佐吉 伊藤福松 加藤助藏 順序不同

## 磐炭世話役會

二月五日集會所に開催。全員五十六名に勞務課員二十四名出席、小島議長より六議題、世話役より七件提案あり、夫々協議を経て晚餐後閉會す。

## 磐炭消防出初

二月五日午前七時金坂に集合五十名前後三棟を破壊し十時より水勢試験競技を行ひついで梯上り俵送り二百米等に興じ正午解散した。

## 磐炭青年總會

二月五日集會所に開催し服装の件、筑波登山の件、三月下旬檢閲并運動會舉行の件、辯論部を設置し愛國誌友團を加入せしむる件等を協議決定した。

## 浮水日のある方へ

流れけり 梅里

鮮滿視察

日本國民高等學校生徒

ハルピン

東洋ホテルにて

十二月七日十九時。六時十分新着。驛よりハルピン行列車に搭乗。列車は頗る變つて居て、木の腰掛なので、尻が痛くて少々参りました。我兵士を始め、露支の兵士や巡查が、拳銃を持って、車中を右往左往警戒の任に當り、又機關銃を持つた小部隊が、列車の先頭と後尾に陣取つて警備して居りました。四時四十分迄なくハルピン驛到着、只今此ホテルに参つて夕食を済ませた處です。車中より見る新着ハルビン間の風景は、常に話に聞かされた通り、所謂廣漠たる滿洲野原で、僕が假りに殖民することすれば、こゝら邊が長い様な氣持が致しました。明日は見学であります。一行何れも元氣、一人の病者も出ませんでした。此處等邊の汽車時間は午後もぶつ通して十三時十四時といつて居ります。

大内一郎

(其三)

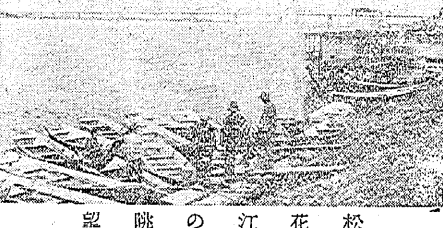
公主嶺

農業實習所にて

東洋ホテル

月八日。九時

時半ツリストビエローより來た露人を案内に、貸バス二臺に分乗して出發。日本市街を皮切りに支那街を通り、日本總領事館、日本小學校、支那小學校、露小學校等を窓外に眺めつつ、驛で市外なる沖、横川兩志士の碑前に到着、一同心から用意を表しました。此處等邊、頗る物騒なもので、まはりは殺風景な野原で、滿洲兵が僅か居る計りでした。又今年一月末我歩兵四聯隊が、一大奮戦をした處である事を聞かされて、誠に感慨深いものがありました。後松花江の風景を賞しましたが全部氷結して居ましたが、實に廣いものでした。其からチウリン商會と稱する、露人經營で最も有名な百貨店を一瞥し、露式レストランに入り、之で小ミスナーの展覧は終りました。露人が多い位で大した珍しくもなく、寒さも大した事はありません。但し我伊藤公遺難地である事は、國民として忘るべからざる事であると思はれます。十二月九日。八時



松花江の眺

が建てつられてあつて、恰も東京郊外といつた氣分でした。もう此から後の旅は物足りないうらなで、匪賊が出なくて物足りないうらなで、目にも紅槍匪徒には見参した。今晩は、でジンギスカン鍋をかきかき、羊の肉を焼いて食べました。

長女多喜子が二男子を

民 惠

思はずに我万歳を叫びけり  
男の子うひ孫二人あれしに  
初孫に男の子二人を擧げにけり  
軍國多事の此春にして  
手をさざりて御國の爲に盡せよ  
こもにうまれし男の子うひ孫

祝歌

東京 遠藤二郎

白玉の男の子眞玉のまゝ男の  
ふたり子えたる君は幸入  
海のさし山のさし男のふたり子に  
さかえさかゆる君がやとかな  
あら玉のその二人子をますと夫に  
ふかけおほちよ國のため  
若御夫婦に、長沼 勢瀧次郎  
一時に男の子二人をあげしは  
高きいさを、たてし君かな  
老御夫婦に

軍人二人生れ出しひ孫は

二本松 岡村榮八郎

ほがらかに歡呼を擧げぬ我子らも  
いこいこ男の子を二人もうちて  
凱旋の勇士を見たり初男の子

東岡子温泉

對翠館にて

十二月十日  
農業實習所を八時半に出發。畜産試験場、農業試験場等は急行で見學。畜産試験場の話に依る、滿洲邊の畜産は、副業でなく殆ど專業の家庭でも、昔より支那の何れの家庭にても、羊牛豚鶏等を飼育して居つたそうである。それで此方面で農業をやらうと云ふには、先づ畜産を飼つて、其邊の草で飼

大連東旅館

月十一日

湯岡子温泉にすつかりのんびりしたよい氣持になり、今迄の垢をさつぱり流し、九時四十分にて熊岳城に向け出發。車中多數の苦力が乗り込んで、混雑を極めました。日曜にも關はらず、農事試験場長自ら迎へに出てくれ、事務所で御茶の御馳走をうけて晝食をすまし、約半時間滿洲農業に就いてお話をうけたが、我々にとつて非常有益であり、且つ興味もあつたので、何れも緊張して承りました。それによると、北滿には其自に適應する小麥大豆を移植し、南滿は新しく綿と苹果を栽培するのが良策で、之は南滿に限るので、需用者は北滿に多いから販路には苦しまねの事でした。大連驛にて、圖らずも、に居留される濱崎兩兄弟が迎へをうけ大に意を強うするに同時に、非常に驚いたが、自由外出は絶對に禁

大連東旅館

月十二日

に許されないで、殘念ながら一寸しかお話を出来ませんでした。かくて當旅館に投じました。

大連東旅館

月十二日

本日碧山莊を始め、滿蒙資源館、油房等を見學致しました。碧山莊は苦力の收容所見たいなもので、麥當咭社 一月例會  
寒念佛つぶやく如く來りけり  
舟小屋を巡りて大根干されあり  
此の風に寒念佛の來り  
軒端に大根干してありにけり  
其儘にしてある稻架へ大根干す  
股あるを嫁大根と云ふさかや  
過ぎて行く寒念佛は親子  
揚羽子の數を呼び居るわらべ哉  
外れて行く羽子追すがり突にけり  
植物の目錄の來て春近し  
春近く匡教工事初めけり  
湯婆にやうやくれまる子供かな  
提灯に附いて火事場走りけり  
湯の岳の麓の村の羽子日和  
此際大に同好の士の入社歡迎  
現在一萬二千人の苦力が居るそう  
で、日本人は僅か其頭となつて居るそうである。此處の苦力は山東産  
七八人が、一千人を連れてチンハ  
んの奥に、往つた際など、土匪が  
出たにも關はらず、身命を賭して  
日本人を守るといつたそうであり  
ます。(此項未完)

内郷村報の

六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村力充實主義を標榜す。
- 二、村内公私各機關の活動状況を報導し、併せて其協調を計り、總親和總努力の實現を期す。
- 三、本村共済事業の徹底を期す。
- 四、村内の善事美行を表彰し、且之を奨勵す。
- 五、本村と本村出身者及本村關係者の聯絡を計り、且其發展向上を期す。
- 六、尙餘力を以て、國民善導に當る。

本紙發行は大内一家の事業にして、其の政説は子孫に對する遺言を兼ねるものなり。

大内民衆

大内民衆

大内民衆

大内民衆

大内民衆

大内民衆

大内民衆